

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	静岡市	市町村名	静岡市	大学名	
派遣日	令和 2年 10月 1日 (木曜日)		14:00~16:40		
	学校教育課担当挨拶		14:00		
	講義「外国人に対する日本語指導」		14:05~15:05		
	演習「日本語指導の授業づくり」		15:15~16:00		
	発表		16:25~16:30		
	振り返り		16:30~16:40		
実施方法	※いずれかに○をつけてください。		派遣	/	遠隔
派遣場所	静岡市教育センター				
アドバイザー氏名	港区立筭小学校 主任教諭 花島 健司先生				
相談者	静岡市教育委員会学校教育課				
相談内容	<p>静岡市教育委員会学校教育課で行っている外国人児童等支援事業の中で、加配教員、日本語指導教室指導員、訪問指導員の小中学校における効果的、効率的な指導の在り方について。</p> <p>また、静岡市にある3区で同水準の日本語指導が行われるための教育委員会、指導員、学校の連携の在り方について。</p>				
派遣者からの指導助言内容	<p>講義「外国人児童生徒に対する日本語指導～個に応じた効果的な指導～」では、日本語指導が必要な児童生徒への指導の在り方について、実践の具体を上げながら丁寧にお話しいただいた。</p> <p>日本語力を育む指導における基本的な考え方として、まず、指導員は多面的・多角的に児童生徒の実態を把握し、個々に適した指導コースを設計すること。さらに、指導においては、学級担任と連携し、児童生徒の授業における表れを把握した上で、どのような指導が必要なかを共通理解していくことの重要性について示していただいた。</p> <p>演習「日本語指導の授業づくり」では、対象となる児童生徒を設定し、指導計画を構想する内容でグループ演習を行った。児童生徒の実態から、グループごとに目標、単元計画、学習活動を構想し、その内容と意図について情報交換をした。現在、静岡市では、加配教員、日本語指導員が個々に活動計画を構想している。全体での情報交換の場を設け、多様な考えに触れることにより、参加者の指導方法の幅が広がった。</p> <p>この演習を通して、該当する児童生徒に適した効率的な指導を講ずるために、学校を含め、指導者同士の連携の重要性について再確認することができた。</p> <p>今後は、日本語指導のさらなる充実を目指し、本研修会で得たものを取り入れながら、研究推進につなげていきたいと考えている。</p>				
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<p>今後も、日本語指導員研修会および教職員研修会を行うことで、日本語指導を必要とする児童生徒の実態把握、指導の在り方について周知を図っていく。また、指導員の資質向上を図るため、研修の内容や回数等、再検討していく。</p> <p>教育委員会が行っている外国人児童等支援事業で、日本語指導員同士の連携を図り、市内で同水準の日本語指導ができるような体制を整えていく。</p>				

